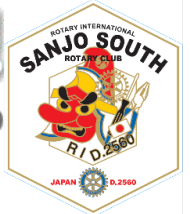




三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2024-25 クラブテーマ **親睦から始めよう**



2024. 10. 21

米山月間

No.2502

No. 12



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会長

永桶 俊一

10月15日火曜日から三條市国際交流協会主催の「第30回日中友好の翼」で中国に行ってきました。三條市と湖北省鄂州市が1994年に友好都市締結をし、30周年を記念して鄂州市へ訪問しました。新滬空港から上海へ飛び、上海で宿泊して翌日16日に上海から武漢へ飛び、そこからバスで2時間かけて鄂州市へ行き、そのまま歓迎パーティーに参加しました。

鄂州市から孫兵書記や副市長等が出迎えていただき、盛大な歓迎パーティーでありました。

料理では、毛沢東が愛した武昌魚という淡水魚が出てきて高級料理という話でしたが、とにかく子骨が多くて食べづらい、そしてあまりおいしくないという印象でした。

翌17日は鄂州市の見学で、鄂州市産業展示センター、鄂州市博物館、武昌学校、鄂州市老年大学に行ってきました。中国では女性の定年が50歳で、定年後老年大学で太極拳、書道、楽器、切り紙などを学ぶことができます。すべて無料で学べるとのこと、日本では考えられない大学です。夜は「友好の翼」側が鄂州市の要人をもてなす答礼パーティーを宿泊していたホテルで開催しました。鄂州市の王市長他政府関係者の他に、過去に研修生として三條市に来た技能実習生も20数名参加しました。

私の会社も第1回、第2回、第4回の研修生の受け入れをしましたが、なんと第4回の研修生が27年ぶりに会いに来てくれました。1年間の研修期間だったので、すっかり日本語を忘れており、こちらも中国語が分からず、翻訳アプリを入れてくれたら良かったと思いました。先ほどの武昌魚は昼に出て、そして答礼パーティーに出て、めちゃくちゃメジャーな料理という印象です。その割に地元研修生も食べていないのが不思議でした。

30年前研修生受け入れの面接のために鄂州市に行ったのが、日中友好の翼の始まりです。

当時の鄂州市は武漢から高速道路もなくほこりだらけの道を走り、月給5,000円の時代でした。

今は中国初の貨物ハブ空港として2022年に鄂州花湖空港が出来、すさまじい勢いで近代化しており、30年前と全く違う都市になっており、研修生を受け入れた日中友好の翼メンバーは驚くばかりです。

18日に上海に戻り観光して、19日の土曜日に上海から新滬空港に戻り、そのまま車で長岡グランドホテルへ行き地区大会1日目に遅刻しましたが参加しました。

20日の日曜日でも地区大会ということでなかなか忙しい1週間でした。

◆本日の出席：39名中22名

◆先週の出席率：86.77%

◆先週までのメイクアップ：10/7社会奉仕事業：非常用電源装置寄贈（三條市長室）へ永桶俊一会長、田中康之幹事、平松修之さん、荒澤威彦さん、加藤一芳さん、塩入栄助さん、中村靖さん▶10/8三條北RCへ佐々木常行さん、江花正高さん、峰嶋由紀子さん▶10/10三條東RCへ峰嶋由紀子さん、丸山智さん、田代徳太郎さん▶10/15三條北RCへ佐々木常行さん、江花正高さん、峰嶋由紀子さん▶10/19地区大会1日目（長岡グランドホテル）へ永桶俊一会長、田中康之幹事、星野健司さん、吉沢栄一さん▶10/20地区大会2日目（アオーレ長岡）へ永桶俊一会長、田中康之幹事、星野健司さん、吉沢栄一さん、木村譲さん、荒澤威彦さん、石山昌宏さん、塩入栄助さん、関博市さん、田代徳太郎さん、中村靖さん、長谷川直哉さん、藤田寛嗣さん、松崎孝史さん、渡辺和宏さん

◇幹事報告 田中康之幹事

◆「米山記念奨学生学友会総会」開催のご案内▶日程2024年11月16日(土)▶会場：ホテルオークラ新島4F コンチネンタル▶時間：15:30～16:00 受付、16:00～16:30 総会、16:30～18:30 親睦会



国際ロータリー会長 ステファニー A.アーチック (米国)
第2560地区ガバナー 南雲 博文 (長岡)
第4分区ガバナー補佐 杉山 幸英 (三條)
会長 永桶 俊一
幹事 田中 康之
SAA 塩入 栄助

事務局
〒955-8666 三條市柳町2-5-10
三條信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477
FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

ニコニコボックス

10/21 10,000円 本年度累計 227,000円

永桶会長「昨日の地区大会お疲れさまでした。ナンさん
本日の卓話よろしくをお願いします」

田中幹事「昨日一昨日と地区大会に参加してきました。
参加して頂いた会員の皆さんもお疲れさ
までした」

関さん「地区大会お疲れさまでした」

吉沢さん、田代さん「今月は米山月間です。ナンさん、
卓話楽しみにしています」

坂井さん、銅治さん、木村さん、田村さん
「BOXに協力します」

熊倉さん「もうすぐ二十四節季の霜降です。どうりで
朝は寒いはずですね。
BOXにご協力ありがとうございました」

「米山月間」卓話

「奨学金が開く 未来への道」

米山記念奨学生
ファンティチュ ナンさん
(ベトナム)



皆さん、こんにちは。ナンです。三
条南RCの米山奨学生として、もう1年半が経ちました。
この間、色々な活動や例会を通して、ロータリアンの皆
さんから多くのことを学ばせていただきました。心から感謝
しています。

本日は、「米山奨学金制度が私の未来にどのような道を
開いてくれたか」というテーマでお話しさせていただきます。
この奨学金を通じて得たものは、単なる経済的支援だ
けではなく、私自身の成長や、将来に対する新たな視野を
広げてくれるものでした。

2つの内容についてお話しさせていただきます。まずは、
奨学金を受ける前に直面した挑戦について、そして次に、
奨学金が私に与えた影響と、それによって得られた成長に
ついてお話しします。

最初に日本に来た時は、本当にたくさんの壁にぶつかり
ました。特に日本語は大きなチャレンジでした。日本語の
勉強を始めたばかりで、教科書で学んだ日本語と、実際の
日常会話は全然違って、なかなか慣れることができま
せんでした。

ある日、コンビニに行って、スナックと飲み物を買った
ときのことです。私は手で持てるものだからレジ袋はいら
ないと思って、「レジ袋は要りません」と言いました。す
ると、店員さんが何かを言いながらテープを持ってきて
くれました。しかし、その時はその意味を理解できず、「い
いえ、いえ、要らないです」と大きな声で言ってしま
いました。店員さんも驚いて私の反応を見て笑っていま
した。

後から友達に聞くと、実はそのテープは、私が商品をす
でに支払ったことを示すためのものでした。この出来事は、
私にとって日本語を学ぶ楽しさを感じるきっかけとなりま
した。

さらに、新しい環境に適應することや、留学生として
の経済的なプレッシャーにも悩んでいました。

でも、その後、ラッキーなことに、ロータリー奨学金
の候補者として推薦されました。最初は、正直に言って、
「私にそんな大きなチャンスを受ける準備ができてい
るのかな？」と不安に思いました。特に、すべてが日本語
で行われるので、緊張もしました。

日常的に学校や仕事では、ほぼ英語でやり取りするこ
とが多いです。特に博士の研究では英語が主に使われる
ため、日本語を話す機会が限られています。ですので、
私はこの奨学金が経済的なサポートだけでなく、自分を
成長させる大きなチャンスだと感じました。

日本語力を向上させ、自分自身をさらに高めるために、
勇気を出して挑戦することに決めました。実際、奨学金
の応募プロセスは簡単ではありませんでした。3つのス
テップがありました。まずはエッセイ、次に面接、最後
にグループディスカッションです。それぞれがすべて日
本語で行われるため、初心者レベルの日本語で挑戦する
ことになりました。

ステップ1のエッセイを書くことは、本当に大変でし
た。エッセイを書く際に、私は多くの挑戦に直面しま
した。特に漢字を書くのが難しく、何度も練習しなけれ
ばなりません。最初は、漢字を書くのに時間がか
かり、自分の考えをうまく表現できませんでした。

書いたり消したりを繰り返すうちに、自分の思いをし
っかりと伝えるためには、どのように文章を構成すれば
いいのかを考えるようになりました。例えば、自分の経
験や感じたことを具体的に書くことで、相手に伝わりや
すくする工夫をしました。このプロセスを通じて、私は
忍耐力を身につけることができました。

次は面接です。その時すごく緊張しました。日本語で
質問にちゃんと答えられるか心配だったので、面接前に
色々な質問を探して、よく出る質問に対して答えを練習
しました。必要な言葉を暗記して、面接中にフリーズし
ないようにしました。結果的に、面接は思ったよりも順
調に進み、準備の成果を感じました。

最後はディベートです。これは間違いなく最も恐ろし
い部分でした。周りの候補者はみんな日本語が上手で、
私はどうしようかと悩んでいました。でも、私は「リー
ダーになろう」と決意して、グループリーダーに手をあ
げました。完璧な日本語ではなかったけど、リーダーシ
ップを発揮して、ディベートを乗り切ることができま
した。この時、私は「日本語が下手でも諦めずにやってみ
ることが大切なんだ」と気づきました。

結論として、ロータリー奨学金のプロセスは、私にと
って本当に重要な経験となりました。この過程を通じて、
多くの貴重な教訓を学び、たくさんの思い出を作ること
ができました。自分の成長を実感し、今後の人生に大き
な影響を与える貴重な時間でした。

さらに、ロータリー奨学金を受けた後は、さまざまな
活動を通じて本当に素晴らしい経験を得ました。特に、
スピーチを通じて日本語のスキルを磨く機会がたくさん
ありました。これらの活動は、言語の向上だけでなく、

人間関係やコミュニケーションの面でも私の成長を促してくれました。

結論として、ロータリー奨学金のプロセスは、私にとって本当に重要な経験となりました。この過程を通じて、多くの貴重な教訓を学び、たくさんの思い出を作ることができました。自分の成長を実感し、今後の人生に大きな影響を与える貴重な時間でした。

さらに交流会も私にとって貴重な機会となり、ロータリアンの方々と話し合い、交流することで多くの新しいことを学ぶことができました。さらに日本文化を学ぶだけでなく、ベトナム文化についても人々と共有し、話す機会がありました。ベトナムの良い面や課題も含め、さまざまなことをシェアできたことが非常に喜ばしく感じています。私の国に対しても関心を持ってもらえることがとても嬉しかったです。



私はまるで家族の一員のように温かく見守られ、指導を受けることができました。このような経験は、私の成長にとっても役立っています。これからもっと多くの人と交流し、学びを深めていきたいと思えます。

そして、この奨学金制度のおかげで、日本語の面接を乗り越えて、研究職に就くことができました！ 仕事では日本語能力が求められる会社が多いため、多くの博士課程の留学生が苦労するところですが、私はこの奨学金制度を通じて得た経験と成長のおかげで、これを乗り越えることができました。

II 奨学金の影響と成長



高砂熱学工業株式会社の内定式



2025年4月から、私は高砂熱学工業株式会社のメンバーになります。この写真は、私が最近参加した内定式でのイベントで、10月1日に行われました。この会社は、世界中に多くの支店があり、ベトナムにもあります。

その内定式で少し恥ずかしい出来事がありました。チーム対抗のクイズ大会があって、10問の問題に答えて、正解が多いチームが賞品をもらえるというものでした。その中で、「高砂熱学が丸紅と川崎重工と一緒に、ある国に電力供給を安定させるための発電設備を作りました。

その国はどこでしょう？」という質問があったんです。正解はベトナムだったんですけど、なんと私、ベトナム人なのにマレーシアを選んじゃったんですよ！ チームのみんなに笑われてしまって、すごく恥ずかしかったです。でも、それ以上に、自分の国の発展に会社が貢献していることを知って、とても嬉しく思いました。

II 奨学金の影響と成長



私の仕事について簡単にお話しします。私が所属している研究室は「環境共生材料機能工学研究室」です。この2年間、私はある会社と一緒に、水中のシリカを効果的かつ低コストで処理する新しい方法を研究してきました。その結果、3本の研究論文が発表され、さらに特許も1件取得しました。会社に入った後も、この研究を続け、社会に役立つ新しい技術を生み出していきたいと思っています。

また私は、日本で働きながら経験を積んだ後、ベトナムに戻って母国に貢献できることを心から希望しています。

将来の目標としては、私も将来ロータリアンになりたいです。自分が受けたサポートを、次の世代に返していきたいと思っています。特に、私と同じように言語や文化の壁に悩む学生たちをサポートしたいです。

最後に、米山奨学金を受けて、私は言語や文化の壁を乗り越える大きな力を得ました。この経験を通じて、成長し、そして新しい夢を持つことができました。今後も、この経験を活かして前に進んでいきたいと思っています。

話したいことは以上です。

そして、今日はこれまでお話しした内容に加えて、私が将来ベトナムに戻った時の夢についてもお話ししたいと思います。私はベトナムの一市民として、常に自国に貢献したいという強い思いを持っています。私の考えでは、人を育てるためには知識と質の高い食べ物が必要です。一つは頭に入れるもの、つまり知識や教育で心を育て、もう一つは口に入れるもの、つまり食べ物で体を育てます。

最近の観察によると、あと10年ほどでベトナムは現在の中国や日本のような発展を遂げるのではないかと感じています。その時には、人々はますます忙しくなり、生活は便利で現代的になるでしょう。そういった背景から、今後ベトナムでは冷凍食品の市場が発展し、広く利用されるようになると思います。

私は日本での生活を通じて、先進的な冷凍技術を目の当たりにし、その技術に大変感銘を受けました。将来の夢としては、ベトナムと日本の連携を深め、この冷凍技術をベトナムの食品市場で発展させたいと考えています。この夢を実現させることで、ベトナムの食文化や産業に貢献し、安全で高品質な食品を多くの人々に届けたいと思っています。

功績を讃えて～地区大会表彰～

(対象期間：2023年7月～2024年6月)

ガバナー賞 【個人表彰】 (敬称略)

◆長寿ロータリアン表彰 (85歳以上、在籍20年以上)

◆永年ロータリアン表彰 (在籍40年以上)

◆永年出席100%ロータリアン表彰 通算50年以上

西巻 克郎 52年連続100% 88歳

◆永年出席100%ロータリアン表彰 通算30年

大溪 秀夫 32年連続100%

坂井 範夫 32年連続100%

佐々木常行 30年連続100%

【クラブ表彰】

◆米山記念奨学会寄付 4000万円達成クラブ



◆ロータリー財団寄付

◇「Every Rotarian, Every Year」クラブ

年次基金寄付1人平均100ドル、全会員寄付

(世界でわずか3800クラブです)

◇100%ロータリー財団寄付クラブ



近隣クラブ例会変更のご案内

(記帳場所)

10/30(水) 三条RC 三条信用金庫本店内事務局

10/31(木) 三条東RC 三条ロイヤルホテル

11/ 5(火) 三条北RC 三条ロイヤルホテル

11/ 6(水) 三条RC 三条信用金庫本店内事務局

11/11(月) 三条南RC 三条信用金庫本店内事務局

※夜例会御欠席の方は記帳できます